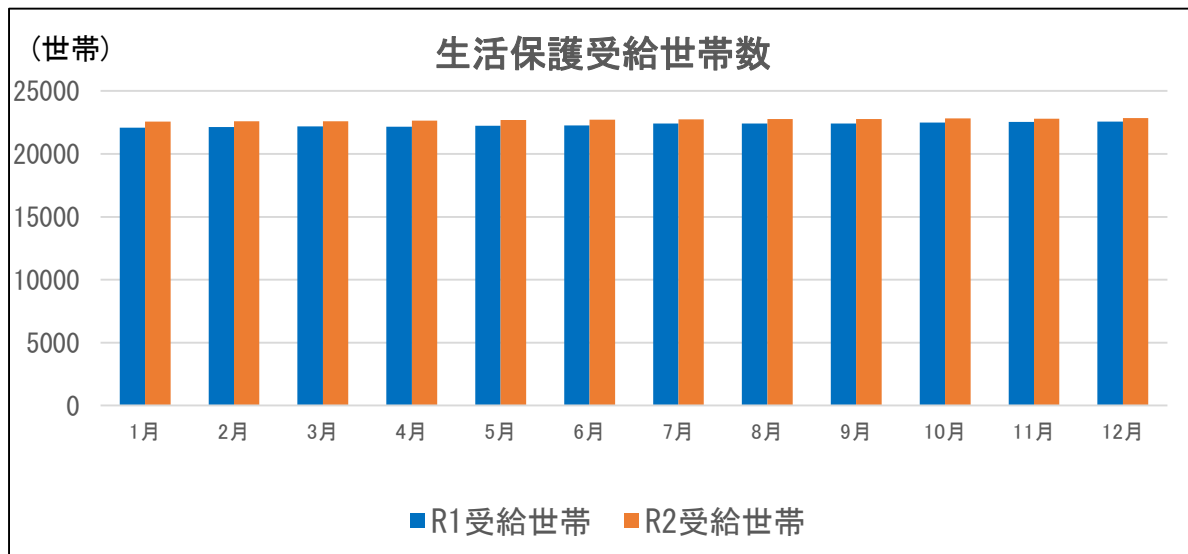
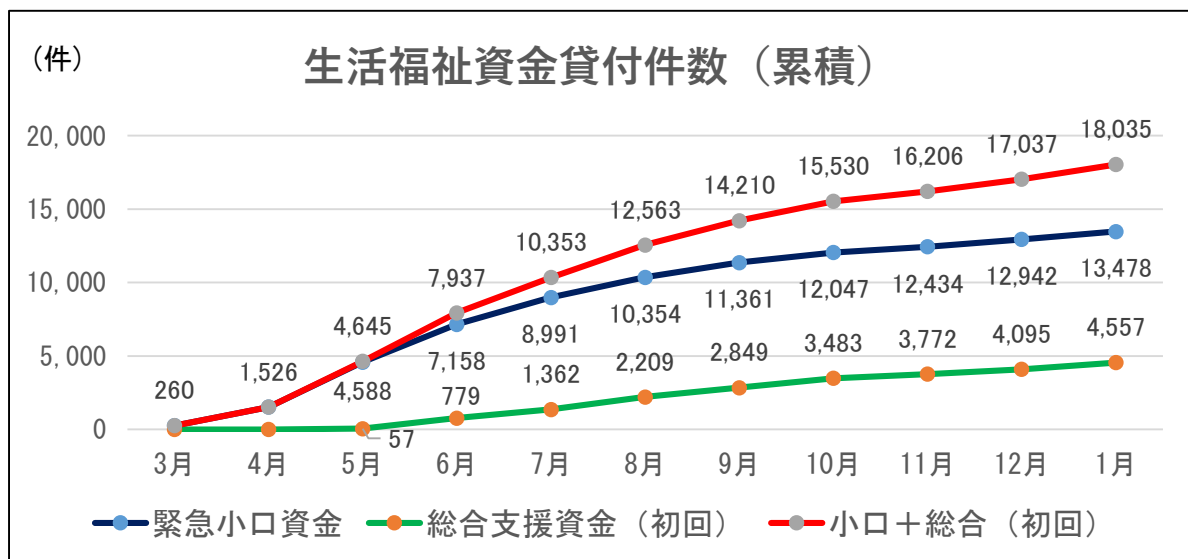
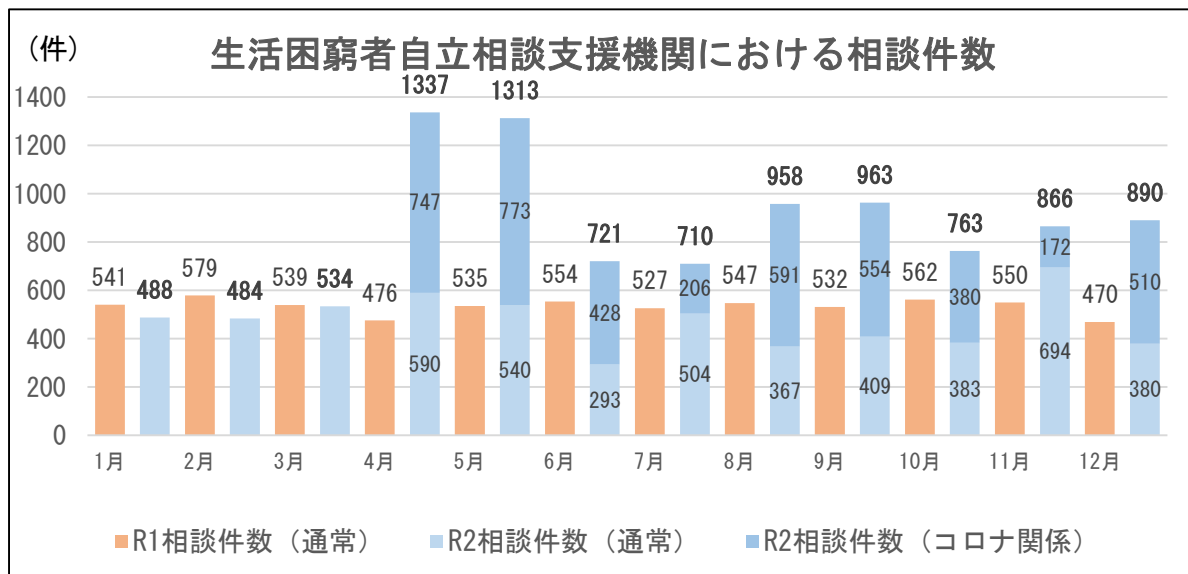


①生活困窮者等について



①生活困窮者等について

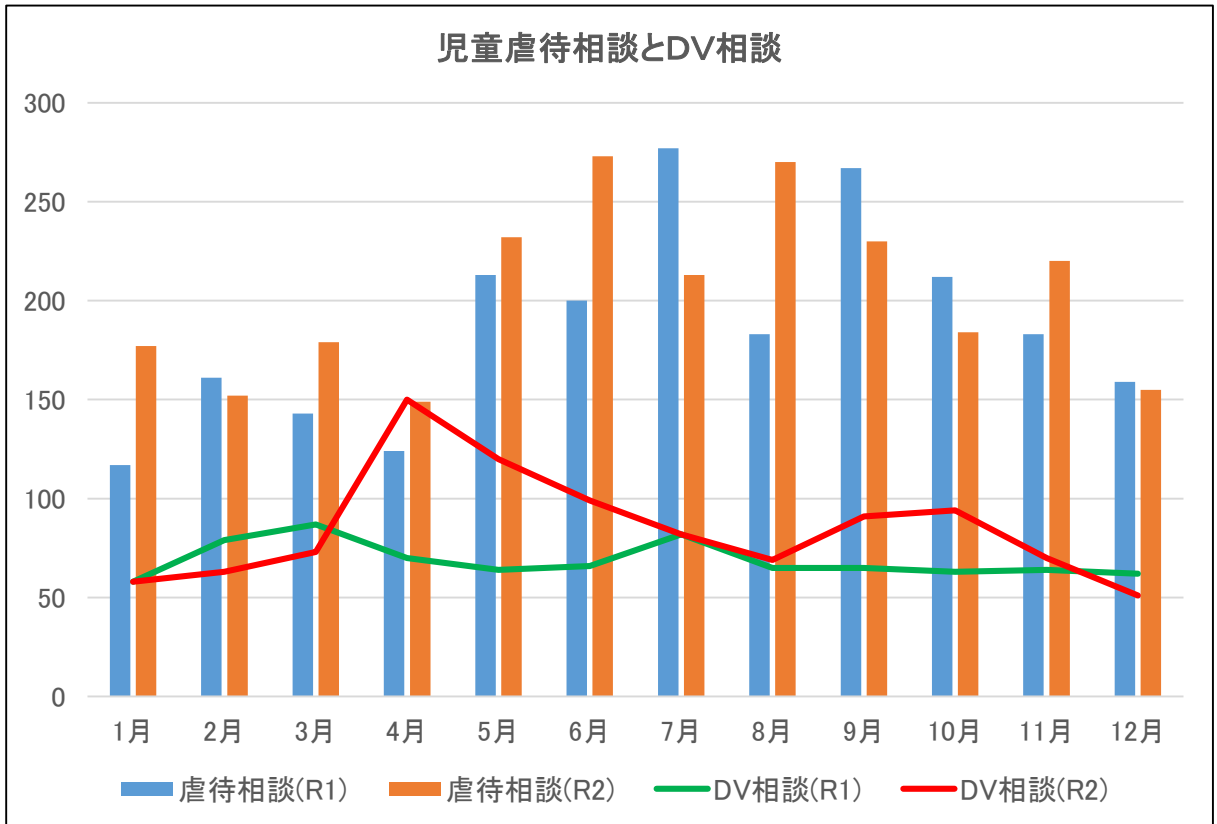
【現状に対する認識】

- 弱い立場にある方が厳しい状況に置かれるとともに、離職等により生活困窮の状況に陥る方々が増加している。
- 生活困窮者自立相談支援機関における相談件数は、昨年と比べて大幅に増加するとともに、令和2年3月から始まった生活福祉資金の特例貸付件数は、緊急小口資金、総合支援資金合わせて18,035件となっている。
- 離職等により収入が減少したことで、フードバンク活動団体等に対して食料支援を求める困窮者も大幅に増加している。
- ホームレス支援団体からは、炊き出しへの参加者が増加しており、20～50歳代の新規の方が増えているとの声が寄せられている。

【県の対応】

- 県の自立相談支援センターにおいて、相談件数の増加に対応し、支援相談員の増員や新たな事務所の開設など体制を強化しており、今後も状況に応じて適宜体制の充実を図る。
- フードバンク活動団体に対する補助の補助率や補助上限の嵩上げを行うとともに、子ども食堂に対する新たな補助制度を創設し、支援しているところである。
- 路上生活者等に対して衣食住を提供する一時生活支援事業について、町村部を所管する県と7市で実施しているが未実施の市に対しては、実施を働きかけていく。
- 生活保護については、現在、最小限の調査により保護の決定を行うなど、新規申請時の柔軟な対応が可能となっていることから、窓口である県保健福祉事務所及び各市福祉事務所に対して、今後も適切な運用を図るよう指導していく。
- 生活福祉資金や住居確保給付金について、必要としている人が確実に制度を利用することができるよう市町村、民生委員、自治会等を通じた周知を図っていく。また、今般総合支援資金の再貸付や住居確保給付金の支給延長が可能となったことから、これらの周知、適正な運用を図る。

②児童虐待とDVについて



【現状に対する認識】

児童虐待やDVの相談は、これまでも増加・高止まりの傾向にある中、令和2年の相談件数は前年と比較していずれも増加した（※）。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う生活不安やストレスによる増加、他者との接触機会の減少による問題の潜在化も懸念される所であり、今後も社会情勢の変化などに、的確に対応していく必要がある。

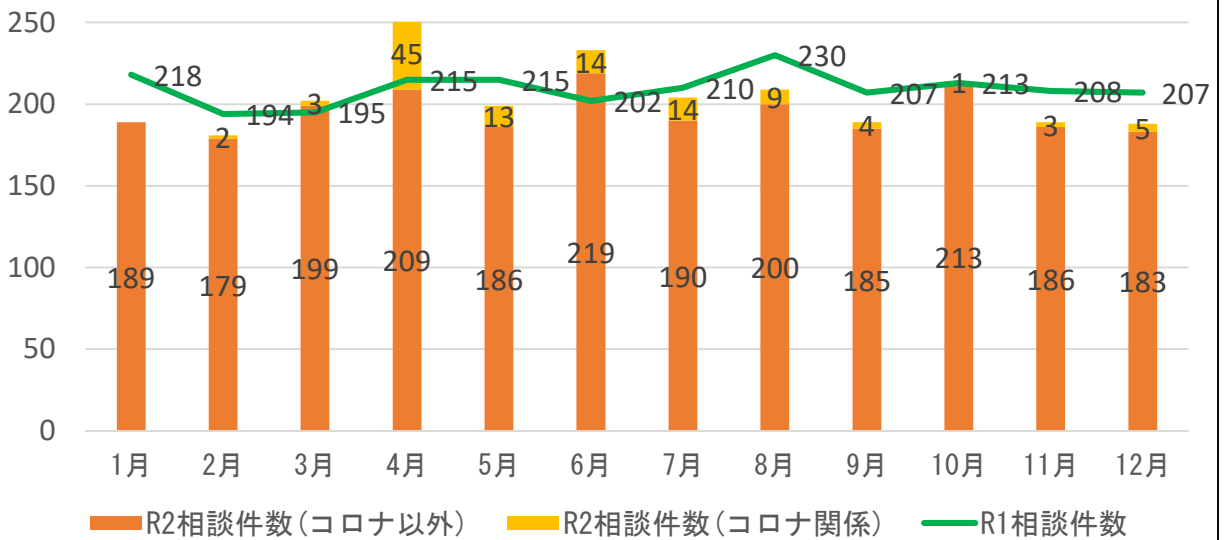
※児童虐待相談＋9％，DV相談＋24％（令和元年比）。

【県の対応】

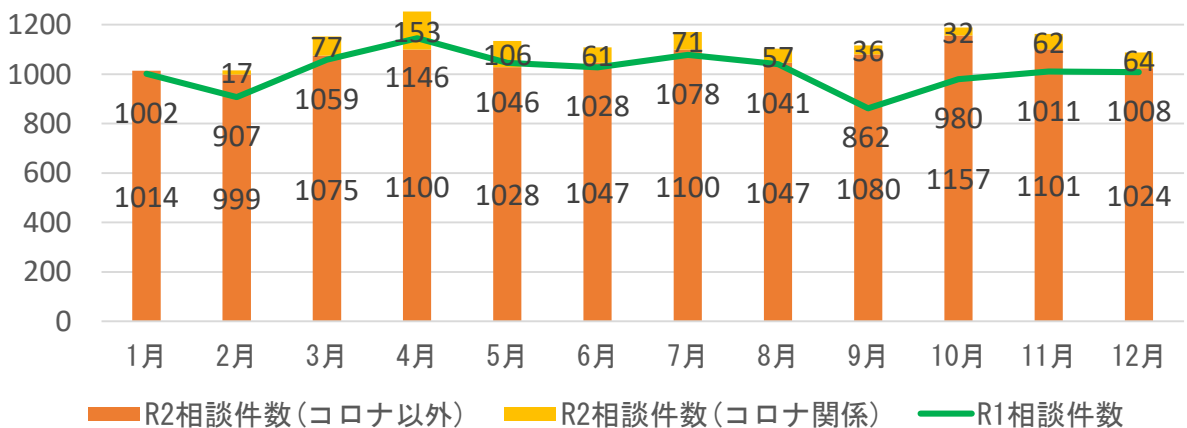
市町村の要保護児童地域対策協議会と連携し、要支援家庭への見守り支援体制の強化を図るとともに、児童虐待を防止するためのLINE相談窓口の設置や、国が新たに設置したSNS相談窓口「DV相談＋（プラス）」の周知、民間団体においてオンライン相談やSNS相談などを実施する経費の補助を行うなど、相談支援体制の充実を図っている。

③こころのケアについて

宮城県精神保健福祉センターこころの相談電話



仙台市精神保健福祉総合センター電話相談



【現状に対する認識】

- ・新型コロナウイルス感染拡大で不安を抱えている方を対象とした電話相談は、国内の感染者が増加し、緊急事態宣言が発せられた令和2年4月をピークに、その後減少してきている。
- ・新型コロナウイルス感染症のコールセンターの対応や、医療、生活支援に係る相談窓口の充実などから、相談者が自分の心配の内容にあった相談先に相談したことなどが要因と考えられる。

【県の対応】

- ・新型コロナウイルス感染症による不安を抱えている方に対する相談窓口を継続するとともに、心の不調は、相談者も原因を明らかに捉えていないことも多くあるため、これまで実施している保健所及び精神保健福祉センターの相談事業での対応を行うとともに、ホームページ等により、心の健康を保つための啓発を継続する。

新型コロナウイルスの感染拡大により不安を感じている方へ

新型コロナウイルスの感染拡大によって思いがけないご経験をされたり、見通しが持てない状況に不安な気持ちを感じている方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

このような経験をしたときに、以下のような症状が出てくることがありますが、多くの方に起こる正常な反応です。

これらの状態は、自然に回復していくことがほとんどですが、つらい気持ちを誰かに話すことでつらさが和らぐことがあります。決して一人で悩まずにご相談ください。

気持ちの変化

- 涙もろくなる
- イライラする
- 気分の浮き沈みが激しい
- あの時あのようにしておけばという自責感
- 投げやりになる
- 怒りっぽくなる
- 不安・緊張が高い
- 誰とも話す気にならない

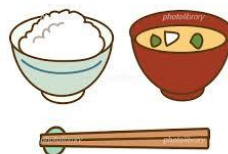
考え方の変化

- 考えがまとまらない
- 同じことを繰り返し考える
- 記憶力が低下している
- 皮肉な考え方になる

- お子さんには、このような変化に加えて、「大人にしがみつく」、「よく泣く」、「わがままになる」、「お漏らしする」などの赤ちゃんがえりが見られる場合があります。
- まずは、ご家族の方が落ち着いてお子さんの気持ちを受けとめてあげましょう。

からだの変化

- 疲れやすい
- めまい、頭痛、肩こり
- 吐き気、胃痛
- 食欲不振や過食
- 眠れない
- 同じ夢を繰り返し見る



●新型コロナウイルス感染拡大で不安を感じる方のこころの相談窓口

仙台市にお住まいの方：022-265-2229

【受付時間：平日 10時～12時・13時～16時】

仙台市以外にお住まいの方：0229-23-0302

【受付時間：平日 9時～12時・13時～17時】

秘密は
守られます

●新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせ（24時間対応）

健康電話相談窓口：022-211-3883/022-211-2882

こころの健康を保つために以下のようなヒントを用いて自分自身をいたわりましょう



おすすめすること

- ◎自分自身の体調を客観的に落ち着いて評価しましょう。
- ◎通常の睡眠・起床のペースを保つように心がけましょう。十分に食事をとり、できる範囲で体を動かすよう心がけましょう。
- ◎自分の感情をありのまま受けとめましょう。
自分自身と対話する時間を持ちましょう。
- ◎出来ることや場所が限られていても、リラックスできる活動をするよう心がけましょう。音楽を聴いたりストレッチやリラックスできる運動を試みるのもおすすめです。
- ◎家族や友人とのつながりを維持するよう努めましょう。
直接会うことはできなくても、SNSを使って連絡を取ったり、LINEなどでビデオ・音声通話したりすることも良いでしょう。



避けた方がよいこと

- ✖最悪の事態をずっと考え続けることは避けましょう
- ✖一日中、睡眠をとり続けることはやめましょう。睡眠の質を下げることになりかねません。
- ✖新型コロナウイルスに関する情報やニュースをずっと読み続けることはやめましょう。情報過多は必要以上に不安や心配な気持ちを引き起こすかもしれません。

信頼できる情報を収集しましょう。

【参考】宮城県HP「新型コロナウイルス感染症について」

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/11.html>

- ✖感情を隠したり、抑え込んだりせず、家族や友人と意見や気持ちを共有するように心がけましょう。